



松ヶ枝

自好協
主学力

瀬戸内町立古仁屋中学校だより



古仁屋中で検索

上記二次元コード

6月24日発行

「当たり前」のレベルをさらに・・・」

瀬戸内町立古仁屋中学校 校長 青山 智宏

昨年度4月に着任してから、毎日生徒たちの様子を見ていて感じているのは「みんな素晴らしい可能性を秘めている」ということです。

5月中旬に3年生は職場体験学習に取り組みました。昨年度と今年度、職場体験学習を通して、生徒たちは社会性を高めることの必要性やこれからの学校生活をどう過ごせばよいのかなど、多くのことを学んできたようです。受け入れをしていただいた各事業所の方々に感謝申し上げます。

また、6月10日からの地区総体では、各部活動や地域クラブで頑張っている生徒たちが、これまでの練習の成果を発揮しようと躍動する姿がそれぞれの会場で見られました。みんな、とても格好よく、応援している私も誇らしい気持ちになりました。

今回は「当たり前」のレベルをさらに・・・とタイトルに掲げました。生徒たちがもつ力は、本人の努力、周りのサポートによって大きく伸びていきます。現在は、多くの生徒たちが頑張っているものの、学力、生活面ともに持っている力を十分に発揮できているとは言えない状況です。(まだまだ伸びると考えています！)

そこで、ぜひ、次のことをご家庭でも繰り返しお話しください。

- ※ 人の話をしっかり（落ち着いて）聞き、内容を理解するよう努めましょう。
- ※ あいさつをしっかりとしましょう。（相手の顔を見て、声を出して）
- ※ 自分の持ち物やプリント類の整理整頓をしっかりとしましょう。
- ※ 時間を守りましょう。

現状、本校の生徒たちの思考・判断・表現力は、全国や県と比較すると低い状態です。一番感じるのは、人の話をしっかりと聞き取れない（理解できない）ことが大きな要因だと考えます。また、話の途中で自己判断して、動き出す、しゃべり出すなどの行動がある場合も注意が必要です。

学校でも繰り返し指導していきますが、ぜひ、ご家庭でも、じっくり話を聞き、自分の考えを相手に分かりやすく伝えるトレーニングをよろしくお願いします。

大島地区総合体育大会



6月9日(月)～20日(金)にかけて、大島地区総合体育大会が開催されました。どの部活動もこれまでの練習の成果をすべて出し切って、悔いの残らない試合ができたでしょうか。最後まであきらめずに戦い抜くことができたでしょうか。

3年生にとっては最後の地区総体。苦しいとき、自分に負けそうなときに、これまでの2年半の苦しかった練習のことやチームメイトとの楽しく過ごした日々を思い出しながら、ストグレ魂で乗り切り、持てる力のすべてを試合にぶつけてきたと思います。

バスケットボールの神様と称えられたマイケル・ジョーダン選手は、「私は、これまで何度も何度も人生で失敗を繰り返してきた。だからこそ成功したのだ。」と言っていました。成功の裏には数え切れないほどの失敗があり、そこから学んできたからこそ偉大な功績を残せたことを表しています。野球のイチロー選手は、「負けることでしか得られないものがある。」と言っていました。負けからしか得られない教訓の存在を語っています。負けや失敗を経験したときに、それをどのように受け止め、次にどう生かすかということが成長には大切です。負けから学ぶことで私たちはより強く、賢く成長できます。負けや失敗を生かして大きく成長してほしいです。

学期末テスト

継続は力なり

6月25日(水)～27日(金)に学期末テストを実施予定です。テストでの好成績を目標にこれまで勉強に励んできたことと思います。テストは、これまでの学習の理解度の確認です。今回のテストで、つまづいている点、わかっていない点、ケアレスミスをした箇所の確認と共に、テストに向かう姿勢、時間帯、学習量等学習への取組の方法も見直すことができます。テストが終わったら、点数だけではなく、どれだけの準備をしたか、(どれだけ授業に集中していたか、どれだけ家庭学習に取り組んできたか)を見直すことが大切です。まずは、明日からのテストを精一杯頑張ってください。幸運を祈ります。

ハンセン病問題を正しく理解する週間



6月22日(日)～6月28日(土)は「ハンセン病問題を正しく理解する週間」です。この期間はテスト期間でしたので、6月18日(水)と19日(木)の朝、ボランティアの方と職員とで、ハンセン病に関する読み聞かせを行いました。

過去は戻らないけれども、これからの時代に二度と同じ過ちが繰り返されないために、そして根強い偏見・差別を解消し、回復者の方々や地域との絆を再びつなぐためには、ハンセン病であった方々が受けた差別や人権侵害の歴史について、正しく理解し、みんなで学び考え、ともに生きていく地域づくりのために行動していくことが大切です。「かわいそうなもの」で終わるのではなく、問題の内容を共感的に受け止め、自分のこととして考えていくことが大切になります。

同じようなことはハンディキャップを持った人に対しても共通することです。ハンセン病についての知識が、病気や生命、思いやりについて考えるきっかけとなればありがたいと思います。

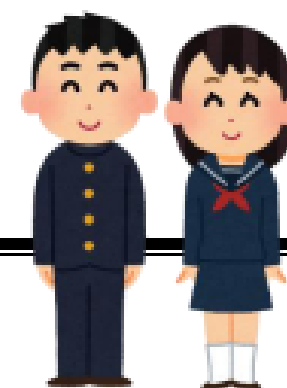
7月の予定(案) 裏面へ

- 12日(土) 合唱コンクール
- 第2回学級・学年PTA
- 15日(火) 3年生板付船体験
- 17日(木) 2年生平和学習
(フィールドワーク)
- 18日(金) 1学期終業式
- 19日(土)～25日(金) 県総体
- *8月21日は、出校日*

裏面に今年度の小中連携 共通実践事項を載せてあります。是非、ご家庭での声かけと実践ををお願いします。



R7 年度小中連携 共通実践事項



学習面

実践事項

家庭学習の習慣づけ

具体策

提出率 100%

生活面

実践事項

自ら整理整頓する児童生徒の育成

具体策

整理整頓 DAY の設定(週 1 回)

保健面

実践事項

生活のリズムを整える

具体策

21 時以降はメディア端末を保護者に預ける